

いっさい愛をもって

「目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。男らしく、強くありなさい。いっさいのことを愛をもって行ないなさい。」I コリント 16:13.14

リックが脳性まひで生まれた時、医師は、生涯植物状態だから施設に預けるよう勧めました。父親は、牧師にも相談し、他の子と同じ様に愛し育てる事を決意しました。父は、リックが能力を最大限発揮できるよう愛を注ぎ。紙やすりで文字を教え、一般中学に入学。リックの希望でチャリティーマラソンに車いすを押して挑戦。完走後リックは「障害者だってことを、すっかり忘れてたよ」と喜びました。その後ホストマラソンにも出場。父は、73歳まで37年続けた。神は、いっさいのことを愛をもって行ないなさいと語ります。一切とは、何もかも全部です。状況、環境に関係なく愛を持って全てを行なう事です。いっさい愛をもって生きる為に聖書から学びましょう。

1. 目を覚ましていなさい 「目を覚ましていなさい。」13

いっさい愛をもって行なうためには、目を覚ますことです。起きて今の現実を見、成すべき事を知る事です。再臨が近いからです。主は、まず祈っていなさいと命じました。◆祈っていなさい「目をさまして、祈っていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。」マタイ 26:42 主は、最後の晩餐後、弟子達に「今夜みなつまずく」と預言されました。ペテロも他の弟子も誰も認めたくないことでした。しかし、現実となりました。その後主は、弟子達を連れてゲッセマネで祈りの時を持ちました。主は、ペテロ達に目を覚まして共に祈るよう命じましたが、二度とも寝てしまいました。「あなたがたは、そんなに、一時間でも、わたしといっしょに目をさましていることができなかったのか。誘惑に陥らないように、目をさまして、祈っていなさい。」41.42 私たちが目を覚まして見るべきことがあります。それは、自分の弱さを見る事です。どんなに熱い思い、強い意志、願いがあっても私たちは弱く、眠ってしまい、裏切ってしまう者です。この後、彼らは主の言われた通りユダの裏切りを目にすることになるのです。更に主は、◆気をつけなさい「気をつけなさい。目をさまし、注意していなさい。その定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。」マルコ 13:33と命じられました。定めの時を知らないからです。主は、眠るなど命令されるのではなく、心構えをするよう勧められています。主は、譬えをとしてもべは主人がいつ帰るのか、夕方が夜中か、明け方が分からない。だからいつ帰っても迎えられるように注意しておきなさいと命じておられます。マルコ 13:35 同様に、私たちは主の再臨がいつかは、誰も知りません。しかし、主は私たちが眠ってしまい、寝過ぎてしまう弱さを持っていても、常にまどろむことも、眠る事もなく私たちを守ってくださることを覚えて、いっさい愛をもってすべてを行う者となりましょう。「主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方は、まどろむこともない。見よ。イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない。」詩篇 121:3.4

2. 堅く信仰に立ちなさい 「堅く信仰に立ちなさい。」13

また、いっさい愛をもって行なうために堅く信仰に立つことです。主を愛し、信頼し続けることです。その為には、◆福音のことばをしっかりと保つことです。「私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。」I コリント 15:2 福音は変わらない神の真理です。パウロが受け、コリントが受け、私たちが受けた福音です。これをしっかりと保ち続けることです。弟子達が船で向こう岸に渡ろうとした時、突風を受け、水を被った弟子達は、「先生、先生。私たちはおぼれて死にそうです。」ルカ 8:24と訴えました。主は、風と荒波を叱り、続けて「あなたがたの信仰はどこにあるのです。」8:25と言われました。人生は、予想外の突風や荒波を受ける事があります。しかし、その時こそ神のことばをしっかりと握り、信仰に堅く立ち続ける必要があります。聖書は、「堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。」I ペテロ 5:9と教えています。何故なら、常に敵である悪魔が吠えたける獅子のように私たちが食い尽くそうと探し求めて歩き回っているからです。悪魔に立ち向かうためには、毅然と罪に対して、誘惑に対して「NO」を宣言することです。私は、主を信じ、主を愛し、主に従うと宣言することです。人の思いは、時に神の思いとは異なります。ペテロは、主から十字架のことを聞いた時、主をいさめ、そんなことが起こるはずがないと否定しました。主を思っただけの言葉でした。しかし、それは、主の妨げとなるものでした。主はそんなペテロに「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」マタイ 16:23と宣言されました。また、堅く信仰に立つために、◆男らしく、女らしく「男らしく、強くありなさい。」13 生きることです。いっさい愛をもって行なうために、男は、男らしく。女は女らしく。愛によって強くされることです。男らしくとは、きよい手を上げて祈ることです。できない事は、山ほどあります。できる事は最善を尽くし、できない事は認めて神に祈ることです。「ですから、私は願うのです。男は、怒ったり言い争ったりすることなく、どこでもきよい手を上げて祈るようにしなさい。」I テモテ 2:8 否定的な考えが来たら、すぐさま肯定的な考えと入れ替えることです。また、女らしくとは、つつましく、控えめに身を飾り、神を敬う者らしく、良い行ないを飾りとすることです。イエスキリストは、男にも女にも最高のモデルです。誰に対しても愛を示し続けられました。私たちも、主のようにいっさいを愛をもって行なう者とされましょう。God bless you.